

発行日：2018年1月1日（第204号）

発行所：リタネット事業協同組合

発行責任者：杉田 圭三

〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-135

TEL: 048-658-8881 FAX: 048-658-8883

URL: <http://www.ritanets.com/>

## <特集記事> 我が社の独自性を支える「経営の掛け算」-前編-

### ◆ 特集記事の目的・狙いとは？

当組合では、日々慌ただしい経営者が自社の経営を伸ばすため「一旦立ち止まり考える機会」と「考えを深めるヒント」を提供するため[自己覚知]経営研究会を立ち上げました。

同研究会では、異業種の経営者同士が「社外取締役」のように自由な意見交換を行い、異業種の立場だからこそその視点が提供され、『そうだったのか！』と創造の外側にあるアイデアが生まれています。

今回、同研究会の参加企業(株名取製作所)を事例紹介することで、リタネット組合員の皆様が自社の経営の独自性を考えるきっかけとして頂ければと思います。

### ◆名取製作所ってどんな会社？

名取製作所(埼玉県久喜市:名取秀幸社長)は、自動車のワイパー部品を製造する金属加工メーカーです。この分野でのシェアは50%に迫るほどで、ドライバーの安全を支え、命を守る製品づくりが同社の役割です。



創業は、1949年(昭和24年)名取社長の祖父が携帯置き時計メーカーから独立し、名取製作所をスタート。1959年(昭和34年)家業を事業にするべく法人化を行い、1975年(昭和50年)名取社長の父 名取勝氏(現会長)が社長に就任します。

卵をふ化させる装置部品や家電部品、自動車のチョーク部品等を製造し、自動車用ワイパー部品の製造を40年余り続け、現在に至ります。『ワイパー部品を取り扱うきっかけは、現会長が海外視察に行った際に米国の製造工程にヒントを受けたことにあります。その後、工程改善を続け、顧客要求に応えていきました』(名取社長)

### ◆名取社長ってどんな人？

名取社長は、1968年(昭和43年)生まれの49歳で同社3代目社長です。自身は大学卒業後、米国に3年留学し帰国後は、中小製造業の新規事業部署で色々な経験を積みました。その後、1997年(平成9年)同社に入社します。入社後は製造現場を経験し、日本品質のものづくりを覚えていきました。

当時の番頭さんを超えて役員になるときに経営について悩み、考え、その時京セラ創業者稻盛和夫氏の経営塾に入塾し経営を学びました。『当社には、ものづくりの好きな人が集まっており、その楽しさを高めていきたい。』(名取社長)



### <企業情報>

株式会社 名取製作所／代表取締役 名取秀幸

本社：埼玉県上尾市愛宕3-15-14

工場：埼玉県久喜市河原井町47 久喜菖蒲工業団地7-7-3

事業内容：金型の設計・製作から試作・量産プレスまで  
一貫生産を行う。特にチタン加工に強みを発揮する。

### ◆名取製作所の独自性を支える経営の掛け算とは？

名取社長へのインタビューを経て、リタネット事務局では以下の3点が同社の独自性を支えてきたポイントであると考えました。

#### <掛け算①> ニッチな市場で「伸ばす」「曲げる」技術を活かす

☞40年超に亘り、コツコツと培ってきたコアな技術力が見えない  
差別化要因を創り、シェア50%の獲得に繋がっている。

#### <掛け算②> 社会貢献とビジネスを両立させ、従業員の意欲を湧出する

☞自社の価値(自分の仕事)が社会の役に立っている実感を義足開発  
(障がい者スポーツ)をすることで可視化(実感)できている。

#### <掛け算③> 中小企業施策を最大限に活用し、技術を磨き、経営を伸ばす

☞国の研究機関と連携し、ものづくり技術を磨き、さらに補助金を  
活用することで、技術力の商品化・実用化に結び付けている。

今回、名取社長が参加した当組合の組合内経営大学([自己覚知]経営研究会)では異業種の経営者と後継者が集い、自社の経営を振り返り、参加者同士が社外取締役のように自由な意見交換を行う「場」として機能してきました。

その「場」では、普段耳の痛い、厳しいアドバイスをもらう機会が少ない経営者にとって、気付きを得る機会となっています。今回も、参加者のアドバイスから『自社では当たり前のことが他社には強み(差別化要因)となること』に気付き、掛け算①に結び付きました。

次号WAVE(1月末発行)では、これら3つの「経営の掛け算」を具体的に解説いたします。なお、掲載情報については、各社HPを参照下さい。

◆リタネット事業協同組合(組合内経営大学・RU／補助金)

HP(<http://www.ritanets.com>)

◆名取製作所 HP(<http://www.natori-mnf.co.jp>)

# 中小企業の働き方改革実践セミナー【参加費無料】

## 人事評価制度・クラウド型日報・労働法改正

採用力・定着率  
向上

人財育成  
スピード化

生産性向上

- ・少子高齢化による人手不足、最低賃金上昇や社会保険料上昇による人件費の増加…今、中小企業は様々な問題に直面しています。
- ・政府は働き方改革と銘打って、長時間労働の抑制や同一労働同一賃金、ワークライフバランス等々の政策を次々に打ち出しています。
- ・ただでさえ人手不足なのに、労働時間が削られて、賃金が上がる。今、採用力・定着率を向上させ、既存の人材で生産性を上げていかなければ、業績は低迷し企業存続の危機に直面してしまいます。
- ・当セミナーは、以下のような課題を持った中小企業の経営者にお薦めいたします。  
「採用力・定着率を向上させたい」  
「人材育成に力を入れたい」  
「管理職に部下の育成・管理をしてほしい」  
「生産性を上げたいが、何をしたらよいかわからない」  
「頑張っている社員をきちんと評価して、そうでない社員との差をつけたい、」  
「労働時間抑制、育児介護休業、高齢者雇用…労働法改正に対応して社員が働きやすい環境を整えたい」  
詳しくは、講師ホームページをご覧ください  
社会保険労務士法人CWM総研 <http://www.imc-sr.jp/>

2018年  
**1月30日(火)**

受付13:00  
13:30～16:30

会場  
リタネツツセミナールーム  
さいたま市大宮区  
吉敷町1-135

**第1講「人材育成を促し業績UPを目指す人事評価制度」**  
・人事制度がないとどうなる?  
優秀な人材の流出、採用シーンで不利に  
・人事制度は給与を決めるだけの仕組みではない  
人材育成、生産性を上げて業績を向上させる  
・運用の壁を軽減するクラウド型人事評価システムとは  
講師：社会保険労務士法人CWM総研 副代表 吉川ゆみ

**第2講「クラウド型日報で情報と立場の垣根をなくし、生産性を劇的にUPさせる仕組みを大公開」**  
・日報は「報告の仕組み」ではなく「人育ての仕組み」  
・組織における成功の循環モデル  
・なぜ人はSNSの「いいね！」が欲しいのか  
・日報を書く15分を惜しむと22%もの成果を放棄?  
講師：株式会社アイトカム 代表取締役 謹訪部 彩

**1月31日(水)**

受付13:00  
13:30～16:30  
会場は同上

**第1講「人材育成を促し業績UPを目指す人事評価制度」**  
\*上記、1月30日と同じ内容です。

**第2講「H29,30 年労働法改正対策」**  
・改正 育児介護休業法 ・有期契約労働者の無期転換ルールへの対応 ・残業時間上限の見直しとその対策  
・関連する助成金のご紹介  
講師：社会保険労務士法人CWM総研  
社会保険労務士 川本 真由美

お問合せ・お申込 →

FAX送信先：  
**048-658-8883**

リタネツツ事業協同組合 事務局  
TEL:048-658-8881

参加日に○→	1月30日	・ 1月31日
企業名	*日程ごとに内容が異なります。ご確認ください。	
所在地	TEL	FAX